



外壁や木堀用の木酢野地板

花壇の見切り用の木酢ガーデン杭

アプローチや堀用の木酢ガーデン枕木

犬走りやアプローチ用の木酢ガーデンチップ

エコスタイル ガーデン



[写真上] ウインターガーデンのある家。リビングの延長にガラス張りの温室を。夏は緑が日陰をつくり、冬も緑ある暮らしが楽しめる。



[写真中央] 雨水を地下に貯蔵して、庭の水やりなどに再利用。



[写真左下] 雑草や落ち葉、生ゴミなどを堆肥化するコンポスト。

[写真右下] カーポートの屋根を緑化し、周囲の自然と調和。



エコデザイナー
西條 正幸

1960年伊達市生まれ。
札幌を中心にナチュラルスタイルの
店舗、住宅の空間デザイナーとして活動。
自然素材にこだわった
新築、リフォームの設計、施工会社
「西條インテリアデザイン」代表取締役。
エコスタイルショップ「素材自店」店主。

自然と共生する住まい

住まいと自然との調和のためには、緑化計画が欠かせない。自然環境を壊さず、小さな生き物たちのささやかな住みかを残すためにも、住まいを緑で装飾し雨水を再利用することが大切になる。

屋根に草を植えたり、屋上庭園やベランダガーデンを作ったり、壁面を緑化フェンスで覆ったり、といった手法はドイツのエコ住宅でよく見られるソフトな手法だ。緑化システムは環境との調和だけではなく、夏は涼しく、冬は暖かい断熱材としての役割も果たし、快適な室内環境と省エネにも貢献してくれる優れたもの。屋根を紫外線による劣化からも守り耐久性も格段に向上することになる。屋根緑化はさまざまな工法が考えられているが、物置やカーポートなど、あまり神経質に水を漏れを気にしなくてもよい場所には積極的にとり入れたいものだ。土地が狭くて庭の造れないような家庭でも、手軽に緑化を取り入れることが出来る

エコな庭づくり

持続可能でエコロジカルな庭づくりを目指す。循環型の資源活用や自然エネルギーの活用も取り入れたい。

たとえば庭の雑草や落ち葉、あるいは生ゴミをコンポストに集めて堆肥化し、肥料として土に還元する。雨水を集めて貯蔵して庭の散水やトイレなどに再利用する雨水タンクを設置したりする。地下に貯水タンクを埋設出来ると理想的だが、雨樋に集まる雨水を樽などに貯める簡単な装置もある。庭の水やり程度なら気軽にチャレンジ出来る。

ドイツではサンルーム的なガラス張りの温室は、ウインターガーデンと呼ばれるが、温熱効果を考えて夏は緑のカーテンでしっかり日射を遮り、冬は温室効果による太陽熱を蓄えるダイレクトゲン利用をし、リビングの延長として上手に活用している。冬の厳しさに違いがあるけれど、北海道の短い夏と長い冬を快適に過ごし、緑を楽しむための空間は参考になる。ウインターガーデンを取り入れることにより、緩やかに放出される湿気が冬の過乾燥対策としても効果を発揮するだろう。小さなグリーンスペースを家中のどこに作ることも出来る。さらに室内環境も改善されると思う。

木酢液のガーデンマテリアル

庭造りに使われる木材製品の多くには耐久性を求められるため、有害な防腐剤が染み込んだ材料が使われている。土壌への影響や最終処理のことを考えると憂うことになる。

輸入品の自然塗料の中には、エクステリア専用のパリエーションもあるが、日本にも古くから使われている和製の天然防腐剤がある。木炭を作る過程に出る煙を冷却して取れる黒い液体が木酢液。成分の8〜9割が水で他に200種類を超えるさまざまな成分で構成されている。殺菌作用を生かした利用法は農業での防虫剤や活性剤・一般家庭での消臭剤・入浴剤・化粧品などに広く使われている。

独特の燻煙臭はスモーク製品を想像するとわかると思う。食品を長持ちさせる効果は建材に使用しても防腐、防カビ、防虫などの効果が期待できる。FSC認証材や間伐材を利用した木材を原料に木酢処理されたガーデンマテリアルは、エコな付加価値をさらにUPさせた商品であり、ローハス派をうならせるエコな庭づくりには欠かせない素材である。用途に応じて加工された部材を木酢液のプールに一昼夜漬け込み、浸透させた材料を必要に応じて積み上げた自然乾燥や、煙煙室にいれて低温乾燥させてから使用する。自然の特性を活かした木酢液のガーデンマテリアルの利用はまだ始まったばかり、環境にも配慮して素材を、今後は積極的に取り入れていきたいものだ。

Ecology House

環境と健康を考えたエコロジー建築



自然素材で新築・リフォーム
エ/コ/ロ/ジ/ー/建/築/工/房
有限会社 一級建築士事務所
西條インテリアデザイン
本社／札幌市北区百合が原4丁目8-1
tel.011-774-8599 fax.011-774-8581
伊達支店／伊達市舟岡町50-28
tel.0142-22-0138 fax.0142-22-0139
ホームページ <http://www.saijo-d.com>

資料請求番号

ハガキで資料を取り寄せられます。





外壁や木塀用の木酢野地板

花壇の見切り用の木酢ガーデン杭

アプローチや塀用の木酢ガーデン枕木

犬走りやアプローチ用の木酢ガーデンチップ

エコスタイル ガーデン



[写真上] ウインターガーデンのある家。リビングの延長にガラス張りの温室を。夏は緑が日陰をつくり、冬も緑ある暮らしが楽しめる。



[写真中央] 雨水を地下に貯蔵して、庭の水やりなどに再利用。



[写真左下] 雑草や落ち葉、生ゴミなどを堆肥化するコンポスト。

[写真右下] カーポートの屋根を緑化し、周囲の自然と調和。



エコデザイナー
西條 正幸

1960年伊達市生まれ。
札幌を中心にナチュラルスタイルの
店舗、住宅の空間デザイナーとして活動。
自然素材にこだわった
新築、リフォームの設計、施工会社
「西條インテリアデザイン」代表取締役。
エコスタイルショップ「素材自店」店主。

自然と共生する住まい

住まいと自然との調和のためには、緑化計画が欠かせない。自然環境を壊さず、小さな生き物たちのささやかな住みかを残すためにも、住まいを緑で装飾し雨水を再利用することが大切になる。

屋根に草を植えたり、屋上庭園やベランダガーデンを作ったり、壁面を緑化フェンスで覆ったり、といった手法はドイツのエコ住宅でよく見られるソフトな手法だ。緑化システムは環境との調和だけではなく、夏は涼しく、冬は暖かい断熱材としての役割も果たし、快適な室内環境と省エネにも貢献してくれる優れたもの。屋根を紫外線による劣化からも守り耐久性も格段に向上することになる。屋根緑化はさまざまな工法が考えられているが、物置やカーポートなど、あまり神経質に水を漏れを気にしなくてもよい場所には積極的にとり入れたいものだ。土地が狭くて庭の造れないような家庭でも、手軽に緑化を取り入れることが出来る

エコな庭づくり

持続可能でエコロジカルな庭づくりを目指す。循環型の資源活用や自然エネルギーの活用も取り入れたい。

たとえば庭の雑草や落ち葉、あるいは生ゴミをコンポストに集めて堆肥化し、肥料として土に還元する。雨水を集めて貯蔵して庭の散水やトイレなどに再利用する雨水タンクを設置したりする。地下に貯水タンクを埋設出来ると理想的だが、雨樋に集まる雨水を樽などに貯める簡単な装置もある。庭の水やり程度なら気軽にチャレンジ出来る。

ドイツではサンルーム的なガラス張りの温室は、ウインターガーデンと呼ばれるが、温熱効果を考えて夏は緑のカーテンでしっかり日射を遮り、冬は温室効果による太陽熱を蓄えるダイレクトゲン利用をし、リビングの延長として上手に活用している。冬の厳しさに違いがあるけれど、北海道の短い夏と長い冬を快適に過ごし、緑を楽しむための空間は参考になる。ウインターガーデンを取り入れることにより、緩やかに放出される湿気が冬の過乾燥対策としても効果を発揮するだろう。小さなグリーンスペースを家中のどこに作ることも出来る。さらに室内環境も改善されると思う。

木酢液のガーデンマテリアル

庭造りに使われる木材製品の多くには耐久性を求められるため、有害な防腐剤が染み込んだ材料が使われている。土壌への影響や最終処理のことを考えると憂うことになる。

輸入品の自然塗料の中には、エクステリア専用のパリエーションもあるが、日本にも古くから使われている和製の天然防腐剤がある。木炭を作る過程に出る煙を冷却して取れる黒い液体が木酢液。成分の8〜9割が水で他に200種類を超えるさまざまな成分で構成されている。殺菌作用を生かした利用法は農業での防虫剤や活性剤・一般家庭での消臭剤・入浴剤・化粧品などに広く使われている。

独特の燻煙臭はスモーク製品を想像するとわかると思う。食品を長持ちさせる効果は建材に使用しても防腐、防カビ、防虫などの効果が期待できる。FSC認証材や間伐材を利用した木材を原料に木酢処理されたガーデンマテリアルは、エコな付加価値をさらにUPさせた商品であり、ローハス派をうならせるエコな庭づくりには欠かせない素材である。用途に応じて加工された部材を木酢液のプールに一昼夜漬け込み、浸透させた材料を必要に応じて積み上げた自然乾燥や、煙煙室にいれて低温乾燥させてから使用する。自然の特性を活かした木酢液のガーデンマテリアルの利用はまだ始まったばかり、環境にも配慮して素材を、今後は積極的に取り入れていきたいものだ。

Ecology House

環境と健康を考えたエコロジー建築



自然素材で新築・リフォーム
エ/コ/ロ/ジ/ー/建/築/工/房
有限会社 一級建築士事務所
西條インテリアデザイン
本社／札幌市北区百合が原4丁目8-1
tel.011-774-8599 fax.011-774-8581
伊達支店／伊達市舟岡町50-28
tel.0142-22-0138 fax.0142-22-0139
ホームページ <http://www.saijo-d.com>

資料請求番号

ハガキで資料を取り寄せられます。

